ちょなぱだ 手紙集　全七巻

편지

第三巻 3

自分のやり方を見つける

続・ぼくの勉強法

この巻はぜんぶで 9話・約62分

韓国語と、ぼくの話。

ちょなぱだ

ちょなぱだ 手紙集 —— 全七巻

少しずつ、全部そろうように。読み終えたら、次の巻へ。

第一巻	思考の自由
第二巻	遠回りをやめる
第三巻	**自分のやり方を見つける** この巻
第四巻	失敗だらけの、ぼく
第五巻	韓国留学記
第六巻	世界が広がっていく
第七巻	調子に乗っていこう

第三巻について

参考書、映画、会話試験。やり方は、人それぞれでいい。完璧じゃなくていい。「自信たっぷりに、まちがえる」くらいがちょうどいいんです。前の巻のつづき、もう一歩じっせん的な勉強の話を。

もくじ

目次

15	おすすめの参考書は？と聞かれるけど・・・	5
16	間違いのない韓国語を自信たっぷりに話す方法	17
17	しゃべるのに韓国人と練習する必要なんかない	27
18	勉強したのに話せない！を突破するアイデア	38
19	韓国映画に没頭することのメリット	50
20	字幕ナシで映画！よりも、割り切りが大事	62
21	短期集中で踊り場までかけあがるべし	70
22	自分に合った勉強法をやればいいですよ	79
23	会話試験を切り抜けたずるいテクニック	87

15

おすすめの参考書は？と聞かれるけど・・・

—— 約8分で読めます ——

ちょなぱだです。「韓国語、どの参考書使ったらいい？」「おすすめのやつありますか？」**とかってたまに聞かれるわ。**ぼくのブログやTwitterをくまなく読んでくれてる人ならこれに対するぼくの回答を知ってると思うんだけども。

おすすめは、あ り ま せ ん 。あなたが**「これなんかいい感じ」**と思うのが良い参考書です。ぼくしょっちゅう本屋いってね参考書チェックするわ。そいで思うんだけど、どれも一定のクオリティは満たしてる。

はしにも棒にもかからないのはまずない。だからぶっちゃけ、どれでもいい。**そ**

もそもね、「これが絶対」とかって何かに「答え」があるかのように思うこと自体がすでに時代遅れなんだよね。

いやこれが本当に学校教育の弊害。**仕方ないんだけどね。**教えるほうも教わるほうも悪くない。**単にシステムの問題。**だから、常にどんなことでも自分なりの解を見つけていってほしいと思うんだけど。

だからぼくができるのはぼくのアイデアを話すことでありぼくなりの指針を示すこと。**これが絶対ではない。**ということを踏まえてもらって、参考書も、**「なんかいい感じ」**と思うのを自分で選んでほしい。

本屋行って、パラパラめくってみて。気に入りそうなもの、これならやり通せそうなものを選んでみてほしい。**あ、１つだけ。**できるだけ薄いものを選んでね。っていうのも、これから話すことにまた関係し

てくるんだけど、人は「**不快**」を避けて「**快**」を求める生き物だから。

　ということなんだわ。動物としての生存戦略ね。不快なことは、なんかヤバイと感じるんだわ。なんか生命の危機を連想しちゃうんだわ。だから一目散に逃げる。あるいは、「**近づくな**」という信号が脳内で発せられる。

　つまり、勉強しなくなる。参考書を見るたびにいやな気分になる。これ、最悪。ぼくも、あるわたくさん。途中まで手を付けて、なんかやめちゃって見るたびにモヤッとした気分を思い出すそんなあわれな参考書が。

　こうなるともうあかん。参考書を開く度にいやな気分になる。この参考書＝不快韓国語の勉強＝不快ってなるわ。もっと行くと自分＝不快になっちゃうよ。そこまで行く前に断ち切らなあかん。

だから、途中でやめたりしちゃって見るたびに嫌になるような本棚に眠ってる参考書はいさぎよく捨てること。ブックオフに売ってもいい。これ本当に大事。その参考書を見るたびにコルチゾールが出るんだわ。

ストレス物質なんだわ。これが慢性化すると体調悪くなるし病気にだってなる。最悪な感じね。だから、いさぎよく捨てる。あるいは売っぱらう。それで、本屋に行って、新しい参考書を買うといい。

場合によっては前のやつとまったく同じ参考書でもいいよ。そのモノに対して**「不快」**のラベルがついてなければいいんだから。**もし、新しいやつなら大丈夫そうって「自分が感じたら」それでもいい。**

じゃなければ、ウキウキした気分で新しい参考書を買う。できるだけ薄いやつね。途中でやめたくなって嫌な気分がくっつい

ちゃわなそうなやつ。厚い参考書はたいてい挫折するからね。

あ、それと大切なこと。これも前言ったけど、参考書は１冊でいいから。２冊以上あったらただちに捨ててね（←乱暴）でもこれまじね。人って選択肢が多いとダメなのよ。結果、思考停止になる。

「どれも選ばない」って回答になるからね。勉強から離れちまうんだわ。だから、参考書は１冊。えっ？辞書はどうするのかって？それ要らなくない？参考書に単語の意味とかも全部書いてあるでしょ？

辞書は勉強のさまたげになる。参考書を勉強する際にはまじで使わない方がいいというのがぼくの考え。ネイバーのニュース読んだり歌詞を訳したりするときには使えばいいよ。

でも参考書を学習する際には辞書を手元に置いておかないこと。辞書を引くのって

ね、勉強の中断になるんだわ。意識がそこで一旦リセットされがちなの。これいかん。せっかくフロー状態（byチクセントミハイ）になってたのから呼び戻される。

　これ集中力途切れる原因ね。ノッてるときにときに中断するほどおろかなことはない。だから辞書は使わない。買わないでいいよ。どうしても必要な時はネイバー日本語辞典で検索。

　それで充分。だから、机に置くのは参考書１冊のみ。あとコーヒーとチョコレート。コーヒーは１日３杯まで。チョコレートはカントリーマアムでも可。そんでね、こんだけなぜぼくが**「快」**と**「不快」**にこだわる原始的な方法を推してるかなんだけど、人間ってそこまで優秀じゃないよと思うからなんだよね。

　人って、やすきに流れる。これは当たり前。動物だから。生存するためにはできる

だけ怠けるべきだから。勤勉に田植えをして米をつくって・・・とかは本能じゃないからね。後天的にできたやつ。

　人間は動物だから、獲物が来たときだけ動いてあとは体力を温存する。木の実がなってるところに移動して食い尽くす。あとはテキトーにして過ごす。基本、働かない。栄養状態が悪い時代にはできるだけカロリーを使わず過ごすというのが生存のセオリーだからね。

　そういう感じ。だから、とにかく、本能にあらがわない。**だってそれが一番続くからね**。自然体だから。意識高い系の人が**「習慣化が大事」**とかって言うの聞くと思うんだけど、これ、ぼく無理じゃないかなと思ってるんだよね。

　というのも、何かを習慣にしようと思って実際に習慣化できる人はほんの一部で、それこそ進研ゼミを期日通りに全提出でき

る5%の優秀な人だけじゃないかなと思うんだ。だって習慣って、非日常に何日かいるだけで解けてしまう「**催眠**」のようなものだからね。

　がんばって習慣化して、「**やったー定着したー**」と思っても、たとえば１週間海外旅行して戻ってきたら、その習慣を復活させるのってけっこう難しいんだよ。ぼくも、ジムに一時期すごいハマっててめちゃ通ってたことがあるんだけど、でも韓国に１ヶ月、講師養成講座のために滞在して帰ってきたらもうジム行かなくなってたからね。

　そゆ感じ。習慣が形成された臨場感空間から抜け出してしまったら、もうその習慣は続かなくなるんだ。まぁこの説明はいいや。だから、「**勉強を習慣化しましょう**」という意識高い系の言葉には耳を貸さないこと。

いや、できる人はやったらいいしほこりを持ったらいい。でも、できないからといってそれはあなたがダメな人なんじゃなくて単に人間の仕組みの問題。習慣化はできなくて当然。

なぜならそれは本能じゃないから。それより、本能に従って**「快」「不快」**のラベルを上手に貼って貼り替えてそれで楽しく勉強するのがいいとぼくは思ってる。まあそんな感じ。

結論は

> ・参考書はおすすめはない
> ・自分で「これなんかいいかも」と思えるのが良い参考書
> ・参考書は１冊だけ使う
> ・できるだけ薄いやつを選ぶ
> ・辞書は要らない。Naverでいい
> ・習慣化を目指さず「快」「不快」に従う

という感じでよろしく。ちょなぱだ■追記前々からずっと言ってるんだけどぼく韓国語だけをやりたいわけじゃなくて可能性をひらいて人生をフルに楽しむことを目指したいんだよね。

もちろん、韓国語も大事だよ。韓国語の勉強をきっかけに才能が開花することってたくさんあると思う。ただ、ぼくの願いは、みんなひとりひとり、すごい才能を**「眠らせてる」**から、社会的なあれこれに邪魔されずにそれを存分に発揮してほしい的な。

みんなそれぞれの問題意識がありあなたにしか解決できない問題があってあなたにしか救えない人がいるからその役割をまっとうしてほしい的な。そゆ感じなんだ。みんな違う才能を持ってるからそれって素晴らしいことだよねとぼくは本気で思ってるんだけど。

誰もが**「一人残らず」**才能持ってるし自分で楽しみながら人に貢献できるからみんなそれやるようになったらいいなと思ってる。でもそういうことを言い出すとやっぱりメルマガからずれちゃうよね。

というわけで、「ちょなぱだが言うことは韓国語と関係ないことでも聞いてみたい」という人を対象に別メルマガやるかなーってまぁ前々から言ってるんだけど。もしそういうのを購読したい人がいたらもしかしたら近々募集するかもしれん。

し、しないかもしれん。ちなみに有料を考えている。値段は、1,000円（学割500円）とか。なぜ有料にするかは理由があるけどそれはたぶん購読してくれる人にだけ伝える。

儲けたいから？そうかもね。でもそれだったら値段１万円にするわ。と言っておいてやらんかもしれんけどね。ぼくの気分

次第な感じでよろしく。とりあえずぼくが常々言いたいのはあなたは自分がどう思ってるか知らないけど自分で思っている以上の価値は絶対あるからそれを忘れないでということだわ。

　ではでわ。

16

間違いのない韓国語を自信たっぷりに話す方法

—— 約6分で読めます ——

こんにちは、ちょなぱだです。先日、久々に、翻訳をしました。いやあのね、友人に頼まれて。「これ、悪いんだけど超特急で訳してくれない？」って。日本語の社長あいさつを韓国語に翻訳するってやつ。

そんでまあ、ぼく、韓国語あんましできないんだ。いや、韓国語能力試験６級程度にはできるんだけど。でもそんなの、翻訳者になるにはとうてい足りないレベルで。しかも、あいさつ文だから、ムズカシイ言い回しが並んでるわけ。

「謹啓」とかから始まってなんとかタマワリとか益々のご健勝を・・・とか何とか。当然、そんなの韓国語で言ったことな

いし。**単語も何も知らん**。じゃあ、どうなったか？事後、友だちが、メールを転送してくれた。

「韓国人スタッフが確認しましたが問題ありません。素晴らしいとのことでした・・」的な。**要は、間違いもなかったしちゃんと伝わる韓国語になってたというわけ**。なんで？なんで韓国語のレベルが低いぼくがそういうやったことない挨拶文を正確に訳せたのか？

まぁ、コツがあるからなんだけど。**ずーっとずっと昔。はるか昔**。大学で国際交流サークルに入ってたころ。中国人の友だちと、中国語でメールしたりしてた。大学の第二外国語でやってただけだからそんなちゃんとできるわけがない。

でも、驚かれた。「なんで、全然間違わないの？」「なんでそんな正確な中国語が送られてくるの？」**って**。まぁ、コツがあ

るからなんだけど。このコツ、知りたい？ コツってどんなことだと思う？

聞いたらガッカリするかもしれん。**「なんだ、そんなことか」**って思うかもしれない。そして、やらない人が大半だろう。**別にやらんくてもいいんだけど**。ただ、やった人は、効果が出るはず。

ちなみになぜここまでもったいぶってるかと言うと引っ張ったほうが、記憶に残るから。そして、実践率が高まるはずだから。じゃあ、ぼくがやったこと。それは、

「韓国語の例文を置き換えた」

これだわ。すでにさ、あるじゃん。ネット上に、韓国語の文章、いっぱい転がってるわけ。その、間違いのない例文を、そのまま使ったり単語を置き換えたり。それで組み立てたからなんだ。

あのね、勉強しててやりがちなことに「すべて自分でつくりあげなきゃだめだ」

と思うってのがあるんだよね。韓国語をしゃべるには、頭のなかで文章を**「生み出して」**しゃべらなきゃいけないって。

その心意気は、素晴らしい。クリエイティビティ、大事。でもね、それって、難易度の超高いところでの話で。小説家とか、そういう、自ら言葉を生み出す必要のある人に限った話だとぼくは思ってる。

一般の人だと、特に、学習者の段階だと、自ら生み出す必要なんてないんだよ。とにかく、元々ある例文をそのまま使う。必要があれば、単語を置き換えて使う。これなんだわ。

これをすることで、間違いのない韓国語の文章をつくることができる。でね、普通に話す場合は間違いなんてあってもいいんだ。通じればOKって考えだからね。ただ、日本で教育を受けた人の傾向として**「ミスを過剰に恐れる」**

ってのがあるよね。**「間違った文法で話したら恥ずかしい」**とか。「あれっ、これって合ってるのかな。よくわからんから黙っとこ」みたいな。そういう、自分で自分にブレーキをかけちゃうような状況がよくある。

ぼくもその傾向は非常に強かった。自分で自分を監視してひたすら批判してた。でもね、すでにある例文をそのまま話せば、当然、文法的に間違いがない。教科書に

「チハチョルヨギ オディエヨ」

って載ってて、そのまま現実でも**「チハチョルヨギ オディエヨ」**って言えば、合ってるって確信できるでしょう？だから自信を持って話せるんだ。そういうメリットがある。繰り返すけど、基本的には間違っていい。

どんどん間違いながら話すことが一番大事。ただ、ぼくの場合のように、正確な翻

訳が求められてるときとか、どうしても話すのに恐れがある場合は**「覚えた例文をそのまま話す」**

ってのをやる。ないしは、**「覚えた例文の一部を置き換えて話す」**ってのをやる。こうすれば、間違いのない文章を自分でつくれるんだよ。そんで、何度か同じ例文を使ってるとその文章が、自分に馴染んでくる。

覚えたての文章を口に出すと、どうにもふわふわしてて自分の言葉じゃないみたいに聞こえるじゃん？たとえば、**「ヒマ」**とか**「タイクツ」**っていうのは使い慣れてて自然に出てくると思うけど、似た意味の**「無聊（ブリョウ）」**

って言葉、使いこなせないでしょう？でもね、この言葉も、何度か使えば、普通に使えるようになるんだ。自分の口になじむ

ようになるの。あ、わかりにくい？じゃあね、韓国料理の名前。

「タッカルビ」ってさ。はじめて聞いた時は、なんじゃそりゃと思ったじゃん。でも、今は、**「タッカルビ食べに行こうよ」**とかって普通に使えるでしょう？そゆ感じ。何度も自分で使ったり耳にしてれば馴染んで使えるようになる。

自分の言葉になるんだ。だからね、こんなふうにどんどん例文を自分になじませるの。増やしていくんだ。そうすると、どんどん、韓国語で言えることが増える。臨場感をともなって、今の自分の思いを表現できるようになる。

だから、とにかく**「例文を自分の中に貯めていく」**ってのが、有効なんだよね。で、その例文は、どんなのがいいの？ってなると思うんだけど、ぼくのおすすめは、**「自分の心に響いたフレーズ」**

をためていくことだよね。これ、素敵、と思ったものとか、好きな俳優がふと言ったセリフとかドラマの中の言葉とかとか。そういう、自分の心が揺り動かされて目を見開かされたようなそういうフレーズに出会うことってあるでしょう？

そういうのを、ためていくの。で、一個一個、自分がその人になりきりながら、発してみるの。あ、このへんの話はまたもう１個ちゃんとした説明が必要になるから省くけど。まぁそゆ感じ。

ぼくね、せっかく韓国語をやるんなら素敵な言葉を発せられるようになったらいいなと思ってるんだ。きたない、人を不幸にするようなかなしい気持ちにするような言葉じゃなくて。

発した人も、それに触れた人も、ちょっといやされたり、素敵な気分になったり、前向きになれたりするような言葉。そうい

う言葉を発するために韓国語を学ぶってのも、１つの姿勢なんじゃないかなと思ったりするんだよね。

だから、自分の心に響いたフレーズを集めるの。そして、自分がその言葉を初めた聞いたときと同じ感動を人に発するんだ。相手に、どう響くかはわからないけど少なくとも、発したあなたは素敵な気分になる。

韓国語のフレーズを発するだけで気持ちが前向きになったりするんだよ。そういう良い面もあるやり方だからぜひやってみてね。具体的なやり方は実は以前Youtubeに載っけてたり。

こちらも、一度見た方も実践を前提としてもう一度見てくれてもいーよ。

> 【ちょなぱだ式韓国語勉強法#001】使えるフレーズを増やす/IUのCMを題材に

じゃーまたね。ちょなぱだ

17

しゃべるのに韓国人と練習する必要なんかない

—— 約7分で読めます ——

こんにちは、ちょなぱだです。10年以上ぶりに「**床屋**」に行きました。野球の日本代表のツッツが床屋に通ってると知ったからです。それで自分も床屋に行ってしまう程度には流されやすいタイプです。

野球も完全に「にわか」です。それとうちにはまあるいお菓子が今いっぱいあります。**リッツです。**さて、留学記の第８回。８回目にして、まだ１ヶ月分の話が終わっていないという。

長編小説書けるな。飽きられないようはしょってドンドンいきますね。ソウルナビの掲示板の「**ゆずります**」に飛びついて、建国大の人から６級までのテキストを譲り

受けた。高麗大のテキストと並行して進めていきました。

　毎週月曜の小テストをペースメーカーにして。24時間の図書館にこもって。韓国語の勉強だけにひたれる幸せをかみしめながら、ひたすらやっていきました。クラスでは、４技能をバランス良くやる。

　「書き」の時間がめんどくさくて一番キライだった。「話し」の時間が一番頭使わないで楽だった。決められたフレーズを使って例文つくってロールプレイしたりするだけだから、まぁ難しいことはなかった。

　自主的にしゃべれって言われたらイマイチできなかったんだけども。でもやっぱり**「バイリンガルになる」**って目標もあったからしゃべりたい。でね、しゃべりを上達させるためにサークルに入ろうと思ってたの。

普通に高麗大の学生がやってるやつ。事実、クラスメイトのタケ（仮名）はバドミントン部に入ってた。ぼくは、あるサークルに入りたかった。探した。無かった（涙）日本より韓国のほうが盛んだからあるかなあと期待したんだけど。

The Real Groupのライブとかも日本までは来ないくせに韓国ではあったのに。そんなこんなで会話の機会を探さんといかんと思ってた。でもぶっちゃけ、韓国にいる間に韓国人の友だちはあんまりできなかった。

びっくりするほど接点がない。その後カナダに行ったら韓国人の友だち**「しか」**できなかった。そういうわけでぼくは韓国で基礎を学ぶカナダで韓国人の友だちをつくって会話を上達させるという黄金ルートを提唱してたわけ。

今だったらカナダじゃなくてフィリピンだね。フィリピンの英語学校に通う。韓国人しかいねえ。友達できる。韓国人は韓国語しかしゃべらねえ。韓国語会話上達しまくり。ってな具合になるはず。

それでだね。高麗大学には**「トウミ」**制度があった。日本語で言うなら**「チューター」**。韓国人学生が、留学生の面倒を見てくれるってやつ。ちなみにぼくも日本の大学でモンゴル人のチューターやってた。

朝青龍に激似だった。いい笑顔をしていた。それでぼくについてくれたトウミは、いくつか年上のおにいさん。某企業のモデルになるぐらいのイケメン。国籍アメリカ。英語ペラペラ。

最強かよ。んで、イケメンは、**「妹紹介したるわ」**と、ぼくと同い年の女性を紹介してくれた。実の妹ね。彼女は、中国語専

攻でありながら日本語検定１級。国籍はアメリカ。最強かよ。

　名前は何にしようかな、えーと・・・そうだ、ユナ（仮名）にしよう。ユナは、日本語検定１級は持ってたものの、会話はイマイチだった。だから、日本人のぼくと交流する機会があれば会話能力も伸ばせるしお互い良いかなと考えて紹介してくれたみたい。

　さすがイケメン。で、このユナが、韓国にいたときの唯一の韓国人友だちだったｗいや、ぼくもともと友だちつくれないんで。それだけ韓国語の会話を練習する機会は少なかったってことね。

　このユナを今後話に登場させるかは未定。じゃあなんで詳しく紹介したんだよっていう。ちなみにユナは日本にも進出してるファッションブランドでデザイナーをしてるなう。すげえ才女。

いや、才女って言い方はフェアじゃないな。すんごい努力してたの知ってるから。20代後半で、夢を追いかけるために仕事辞めて、畑違いのファッションの専門学校に日本で通って、めっちゃ努力してデザイナーになったっていう。

人生、こうでありたいよね。いつだって、新しいキャリアを始められる。かわいいはつくれる。で、つまるところ、ぼくは会話の練習は学校の授業ぐらいでしかしなかった。学校の授業では、クラスメートとしゃべる。

つまり外国人どうし。韓国人でない者どうし。「韓国人と練習しないとしゃべれるようにならない」というのは神話だとわかる。そこは本質じゃない。相手が中国人であろうとブラジル人であろうとバングラデシュ人であろうと日本人であろうと、韓国

語で会話する練習をすれば、しゃべれるようになる。

　これって、日本在住の学習者にとって、すごい朗報だよね。無理に韓国人を探す必要もない。ともかく、しゃべればいい。あのね、**「韓国語しゃべれる」**って、どんな状態？通訳できる？

　韓国人と議論できる？いや、それでもいいんだけど、それって高望みすぎないか？ハードル上げすぎ。そういえばぼくねフランス語、しゃべれるんだ。ボンジュール。ほら。しゃべれた。

　ぼくはフランス語で挨拶ができる。なんなら、お礼も言える。メルシー。ほら。言えた。フランス行った時どっちも通じた。これです。これなのですよ。１つでもフレーズを知っててそれを口に出せたら**「わたし韓国語しゃべれるよ」**

このずうずうしさ。**いや、宣言する必要はないよ。人に言う必要はない**。でも、自分ではその感覚。語学に限らず何でもなんだけど、黒か白全か無0か100じゃないから。その間には、3も、26も、39も、78も85もある。

それをね、ちょっとずつレベルアップしていけばいいじゃん。使えるフレーズ、昨日はゼロだった。今日は１つ覚えた。明日は２つになった。あさっては３つに増えた。これでいいじゃん。

あなたはゼロじゃない。あなたは１つ、フレーズを知ってる。口に出せる。韓国人に言ったら通じる。それってすごいことだよ。あのね、何か国語かいっぺんに勉強するとよくわかるんだけど。

たとえばね、えーとルーマニア語の授業を受けるとするじゃん。たぶん全然わからんじゃん。そしたらね、思うよきっと。

あぁ韓国語なら少しわかるのにって。昔ね、多言語を学ぶクラスに参加してたの。

　そこではね、いろんな言語を学んでいくんだけど、日本語禁止なの。英語はOK。説明はその時間に学ぶ対象の言語と、英語で行われる。英語で、ルーマニア語とか、タイ語とか、ドイツ語とかそういうのを学んでいくわけ。

　するとね、みんなはじめはね**「いやー無理やん」**って言ってた。英語なんかできない。まだしゃべれないのにそれで授業受けるの無理だ、って。でもね、たとえばルーマニア語がねあまりにもわからないからねこう思うようになるの。

　「**あぁ、今のとこ英語で説明してほしい**」**って**。会話するじゃん。そんとき、ルーマニア語だとたどたどしいにもほどがあるわけ。でもね、英語なら、ほんのすこしでも知ってるでしょ。

　そしたらね、こう思うの。**「あぁ、英語で話したい」**って。これはね、ぼくが多少英語できるからじゃないよ。ほんとに英語がイマイチなほかの人が言ってたこと。あんまり韓国語の**「できない」**にフォーカスしすぎてるから、自分がいかに**「できる」**かに気づかないの。

　ほんとはいっぱい単語とかフレーズ知ってるはずなのに。みんな**「しゃべれる」**の基準が意味不明に高すぎるから。まぁ学校教育の洗脳を受けてるからしょうがないんだけども。

　めっちゃ話がそれた。長くなったから今回はここまで。とにかくね、フレーズ１個１個をね使えるようにするんだ。そのあたりはまた今度。話が一向に進まないね。たぶんこれからもこんな感じだと思います。

　「話せる」の基準が高すぎない？とか、そういう**「もっとハードル下げなよ」**系の

ことも動画で話してます。完璧主義をやめた瞬間、韓国語は飛躍的に上達するとりあえずばいばい。

ちょなぱだ

18

勉強したのに話せない！を突破するアイデア

—— 約8分で読めます ——

　こんにちは、ちょなぱだです。毎度おなじみお便り紹介のコーナーです。**さっそくいきましょう！**ーーーお便りここからーーー初めてメールします。韓国語を勉強している、●●と申します。いつも楽しく読ませていただいています。

　（中略）私も感じたことがあるので１つ紹介します。それは、「自分より韓国語ができない人、または全くわからない人と出掛ける」です。先輩として、かっこいいところを見せようとしますよね。自分ひとりだったら**「ま、今日はいっか・・・」**とあきらめてしまうものも後輩を連れると、なぜか不思議と力がわきます。

「すごい、今なんていったんですかあ？」なんて言われたら、もう本当にいい気分。どうですか？こんな経験はありますか？ちょっと思いついたのでメールしてみました。では、これからも頑張ってください。

ーーーお便りここまでーーー●●さん、メールありがとうございました！これちょっといろいろ文脈はぶいたからわかりづらいかもなんやけど。**あれです。「こういう条件のときは韓国語がしゃべりやすい！」**

って感じの話でね。その経験とか、ヒントをシェアしてくれたわけ。**もう最高やね。**素晴らしい。こうして、経験を、自分の中だけにとどめず、みんなにシェアしてくれる。この**「For You」**なふいんきがたまらなく好きなんだもの。

それでさ、みんな、思うやんか。「アタシ韓国語べんきょしてるけどしゃべられへんわあ」って、思うでしょう？「ぶんぽとか単語とか少しわかってきたけどいざとなると口から出ぇへんわぁ」

っていう現象、あるんでない？これの解決策がね、あるんだけどね。まぁ根本的な解決策は**「自己効力感」**っていうことにはなるんだけども。今回はその話は置いといて。とりあえずね、２つ。

> 【条件１】大量のインプット
> 【条件２】凝縮したアウトプット

ってのが必要なんだわ。で、**「大量のインプット」**に関しては、まぁ、みんなわりにわかってると思う。一般的に言われる**「お勉強」**のことね。とにかく頭の中にフレーズやら単語やら文法やらをためこむ。

で、今回はこの条件２のほう。ギョーシュクしたアウトプットのほうね。ちょっと英語の話になるんやけどさ。TOEICの点数高いけどしゃべれない。って聞いたことない？すごいぶんぽとかは知ってるはずなのにガイジンを目の前にすると一言も出ない的な。

ぼくが大学生のときね。クラスメートはだいたい、英語の試験の点数は高めの人やった。せやけど、しゃべる時間にはまーじ下手っぴ。ってか口から全然出てこないよね。英作文とかはできるのに。

しゃべるとなるとできない。ぼくもそうやった。国際交流サークルでスタンフォードの学生とかとも交流してて。機会は充分にあったはずなのになんだかかんだかしゃべれない。

あ、これはぼくのコミュ障のせいか？そうかそうか、そっちのほうが問題だった

わ。コミュニケーション教室通おっと。（完）って感じでね、先に、もう１通のお便りを紹介しておこう。

さっきのと同じ方ね。ーーーお便りここからーーーちょなぱださま早速のお返事ありがとうございます。採用していただけるんですか？もちろんＯＫです！アジュ ヘンボッケヨ〜(^^)共感していただけたようで大変嬉しく思います。私も、留学中に両親が来たとき食堂での会話やタクシーの中などでつたない会話を聞かせようと頑張ったのを思い出しました。

また、先月韓国にいたとき、腰痛に襲われてしまいどうしてもシップが買いたくて薬局に行く勇気がなく昨日今日来韓した下宿の後輩に「薬局行くんだけど、良かったら一緒に来るぅ？」なんて声を掛けたのを思い出しました。

　見栄の力ってすごい！よく、営業マンが新人を連れて回るのも新人教育のためだけではないのかもしれませんね。**そして、大事なことは、韓国語を使わなければならない状況に追い込まれるということですかね(^^ゞでは、掲載を楽しみにしております**。これからもハングル頑張りましょう。

　ーーーお便りここまでーーー●●さん、またまたありがとうございます！掲載をこころよく了承してくださいました。一言で言って神ですね。きっとすごく素敵な方に違いありません。

　そんで、ここでもシェアしてくださってるように、「自分より下手っぴな人といるとなんだかしゃべれる」っていう現象。これだわ。これ真理。

【条件２】凝縮したアウトプット

　なんだよね。あのね、言葉を**「しゃべりたい」**って場合。どうしたってね、しゃべる場が必要。ふつーに考えても、実際にしゃべってみなければ自分がしゃべれるかどうかわからないじゃん？

　それでなんだけど、実際にしゃべる場が必要なの。でもね、それは、

> 【条件２】凝縮したアウトプット

　でいい。日々大量にアウトプットしないでもいいんだ。あるとき、ごく短期間にやたらアウトプットする時間があればいいの。それも、キーワードは**「強制力」**。なんとしてもしゃべらなければきけんがあぶない！

　みたいな場面をね、経験するといいんだ。すると、**「開花」**するの。**「韓国語をしゃべる感覚」**ってのが、つかめるんだ

よ。で、この凝縮したアウトプットをやろうとしても、普段はなかなかむずかしい。

恥ずかしさとか、自分できないという思い込みとかまだまだ下手っぴだし的な感情がどうしても優先されるからなんだね。**だからこそ、強制。**「このアタシがしゃべらなければどうしようもない」

「この場面を切り抜けるにはアタシがしゃべるしかない」っていう状況に追い込まれることが大事なんだ。ぼく、カナダ留学に行ったんだ。もちろん日本の普通の教育を受けてきたぼくだったからしゃべる練習なんかしてない。

で、行きの飛行機でマキセリホの親戚という方とお話ししながらカナダに到着。入国審査。**「お前あやしいからこっちこい」**って、別室につれてかれる。でっかいカナダ人の女性に詰問される。

　「お前なにしにきたんや」「違法就労しに来たんちゃうんか」「クレカもなしにどないする気や」とかなんとか。ぼくはもう頭に血がのぼった。ここを切り抜けないと送り返されるかもしれんじゃん？

　アメリカで乗り継ぎながら20時間近くかけて来たじゃん？ホストファミリーに家に何時につくとか連絡してあるじゃん？空港までお兄ちゃんが迎えに来てくれてるじゃん？とにかく自分の正当性を必死にアピールしなければ入国できないかも！

　そんだけ追い詰められた。結果・・・しゃべれた。しゃべれたよ。もちろんペラペラなんかじゃない。でも、しゃべった。おいおいおい。これからカナダの学校に入って少しずつしゃべれる勉強をするはずだったのに。

　行きの入国審査でしゃべっちゃったよ。自分、こんな英語できるんや？しゃべれな

いはずなのに。英語できない！っていい続けてきたのに。あぁぁぁ英語がしゃべれてしまった・・・。

（完）という経験があったんだ。これ。

【条件２】凝縮したアウトプット

しかも、強制力がはたらいた状況で。「自分が話さなければどうにもならない」って状況にあって、口から英語が出てきたんだよね。で、無事にホストファミリーんとこ着いて、ほかの学生に驚かれた。

「なんで来た初日からこんなにしゃべれるんだ？」って。ぼくも、答えようがない。こんなにしゃべれるはずじゃなかったのに。どうしてすぐにしゃべれるようになっちゃったんだろう・・・。

という話。あれ？そろそろまとめたほうがいい？結論

> ・インプットだけでは話せない

> ・凝縮したアウトプットが必要

> ・それは「自分が話さなければ
> どうしようもない」という状況に
> 追い込まれたら発揮される

> ・しかし事前の大量インプットは必須

> ・今やってるインプットは
> 決して無駄じゃない。

> ・アウトプットの必要性にかられたら
> そのインプットの成果が出てくる

> ・あなたの勉強は
> いつか必ず報われる

という感じで。そんで、お便りくださったように「自分よりできない人と一緒に旅行に行く」というのは、とても素晴らしい

アイデア。道もさ。人に案内を任せてたら全然憶えられないじゃん？

　でも自分が人を案内するとまぁ覚えるじゃん？**やっぱしね、能動的な状態がいちばん脳が活性化するんだよね。**結果、学習効果も高いしあなたの能力の限界が突破される。しかもいいことに、一度**「韓国語を話すってこんな感覚なんだ」**

　ってのをつかむと多大なるメリットがあるんだ。このあたりはまた今度。だから一度、自分より全然できない人を韓国で引率してみてね。ちょうんはる☆ちょなぱだ

19

韓国映画に没頭することのメリット

—— 約8分で読めます ——

こんにちは、ちょなぱだです。先日、２つの映画を見ました。『**パッセンジャー**』と『**ラララント**』です。１つはすごくすごく好みで、１つはあんまり・・・でした。さあて、どちらが好みだったでしょう？

推測してぜひ「**当たり**」のほうを見てみてくださいね＾＾ヒントは、ぼくのお気に入り映画は、『**ビフォア・サンライズ**』『**ビフォア・サンセット**』『**ビフォア・ミッドナイト**』の３部作だということです。

ちなみにあんまりヒントにはなってません。韓国映画で言えば、『**猟奇的な彼女**』は17回ぐらい観ましたね。**まぁどうでもい**

いや。ってか映画って、めちゃいいんですよね。**韓国語の実力アップに。**

ドラマでもいいけど。そうだそのへんのことも今日のメールで少し書こう。**留学記11回目。**３級から５級に飛び級したかったぼく。担任の先生とかにも、早いうちから**「５級に飛び級したいです」**って言ってました。

だから、当然、そういう運びになってると思ってました。で、３級も終盤に差し掛かったときのクラスでの飲み会のときに先生に「ぼく、飛び級試験を受けることができますか？」

とたずねました。ちなみに飛び級っていうのは韓国語で**「越班（ウォルバン）」**と言いますね。すると、先生は、ピタリと動きを止めました。まじで２秒ぐらい固まってました。

「越班試験ですか？申し込みは昨日までだったんですよ・・・」ガーーン顔面蒼白ですね。**うわあ計画が狂った。このために頑張ってきたのに**。がんばって出席して、点数も取ったのに。

じゃあ４級へ進んで、その次に６級へ飛び級するか？**いや、それかなり難しいだろ**。どうしよう、あきらめるかな。６級は無理かな。もうダメか。えぇぇぇぇ。しょうがないけど。

でも。えぇぇぇぇぇ。という葛藤を頭のなかでごちゃごちゃやりました。３秒ぐらいで。でも、そうだ、ここであきらめちゃいけない。なんとかお願いしよう！そして、「でも、前から、飛び級したいって言ってたじゃないですか」

とぼく。先生は「それは知ってました。でも、正式に言われなかったからしないんだと思ってました」と。そうきたか。やば

いやばい。そうだ、先生のせいにしちゃいかん。念を押さなかったぼくのミスだ。

困ったときのお願いモードでいかないと。「そうなんですか、すみません。ぼくが悪かったです。。。。でも、受けたいんです。飛び級したいです。まじ飛び級しないといけないんです」

こんなふうに必死に頼みました。いやーー先生、まじでなんとかしてください（泣）という気持ちを一心に伝えました。すると、先生はしばし考えてからどこかに電話をしはじめました。

「越班試験、まだ間に合いますか？」てきな話をしてくれてました。途中で**「ちゃれよ」**（意味：ちょなぱだは韓国語が上手です）って言ってくれてましたがそもそも実は「越班試験、受けられますか？」って言うときにすら、韓国語を間違ってたので

いや、そんなうまくないんだけどなと思ったりしてました。

　でもまぁ飛び級試験を受けたい、って電話をするときに、「その学生は韓国語が上手か？」と聞かれたら**「上手です」**と答えるしかないですよね。。。それで電話が終わって。**「飛び級試験、受けられますよ」**

　先生が交渉してくれた結果、ぼくは受けられることになった。やったーー先生にはすごく申し訳なかったけど助かりました。ほっとした。飛び級の試験を受けられることになったのです。

　よかったーーーー。ほんとに安心したのです。で、ここで大事な教訓なんだけど、あんまり大きな声じゃ言えないけど、（小声で）韓国ではゴネればたいていのことはなんとかなる（ボソッ）

　んですよね。マジで。日本よりずっと融通が効く国です。多少のルールは動かして

くれます。ほかのときにもこのことを実感しました。けっこうアウトなことを頼んだんだけどね。

　でもなんか許してくれた、ということがありました。もちろん、いつでもゴネるクレーマーになっちゃダメだよ。相手だってリスク負ってくれてるんだから。でもね、ほんとに大切なときはどうか諦めないでほしい。

　なんとか交渉してみてほしい。たどたどしい韓国語でいいから。いっしょけんめ伝えればきっと伝わるから。というわけで、無事、３級を90点以上の成績で終え、さらには5級の飛び級試験を受けられることになった。

　次の級が始まるまでは、３週間ぐらいお休みがある。ぼくは一旦、日本に帰りました。その間何して過ごしたのかはまったく

記憶がないw食っちゃ寝の毎日だったことでしょう。

　でもはじめのうちは、見る夢が韓国語だったことは覚えてます。韓国語脳になってたよね。でも、3週間日本にいるうちに夢も日本語にすっかり戻り、不安を抱えたまま、６月末、また韓国に戻りました。

　やばいやばい、戻ったらすぐ越班試験だから韓国語取り戻しとかなきゃ。そう思ったぼくがとる行動。簡単ですね。飛行機の中で韓国映画を見るです。**「英語脳」**とか**「韓国語脳」**とか聞いたことあるか知らんけど、それってどういう状態かというと、「韓国語のほうが通常モードになっている状態」

　だと思うんだよね。人とぶつかったら、「すみません！」じゃなくて**「ちぇそんはむにだ」**が先に出る状態。

> でね、この状態にするためには、
> ちょっと難しいキーワードでいくと
> 【臨場感】
> が大事なんだよね。

いやこのキーワードまじで大事でどこで出すかってずっと迷ってたんだけど。今はピンとこなくても徐々に浸透してけばいいなと思ってる。だからとりあえず説明がわからんかったら、**「ふーん」**で読み流してくれればいい。

でね、臨場感ってのは英語で言うとpresenceみたいな感じで**「今そこにいる（かのような）状態」**なんだよね。たとえば、映画を観てるなら、あなたが映画の中の主人公になったような錯覚っていうか。

映画見ててさ、あぶない！ってドキッとしたりするでしょ？あぁぁ悲しいって思って涙ながしたりするじゃん。実際あなたは映画のスクリーンの外で椅子に座ってよだ

れたらしながらポップコーンを食べてるだけなのに。

　それが、映画の中の世界に臨場感を持ってる状態。それって、あなたの脳内では、映画の中の世界のほうが現実になっちゃってるわけ。ポップコーンを持ってる感触は忘れて映画の中の、あぁぁぁ別れてめっちゃ悲しいぃぃって状態のほうが、脳みそにとっては真実になってるんだよね。

　だから体は、そっちの反応をする。手に汗をかくし、涙も出る。これなんだわ。いや、今すぐ理解しなくてもいいからね。ぼく自身、この理屈を「**実感**」するのにはめっちゃ何年もかかったから。

　でもね、とりあえず、韓国映画の世界に没頭する。めっちゃ引き込まれて観る。ってのをすると、その間は、かなり韓国語脳になってるわけ。あなたの韓国語脳が活性化されるの。

ぼくが**「耳が開く」**って言ってたのはこの韓国語脳が活性化した状態のことね。その状態だと夢も韓国語で見る。で、韓国語脳が活性化してると韓国語を韓国語のまま理解したりつい韓国語が口から出たりって状態になりやすい。

だから、韓国に行くときの飛行機で韓国映画をめっちゃ集中して観る。これがイケてる。家でもできるでしょ？ドラマとか映画とか、めっちゃひたって観るわけよ。そうすると、まぁはじめは感覚がつかめないかもしれん。

でもね、あるとき、来るかもね。映画の世界に臨場感を持てるときが。韓国語の世界に身をひたしている錯覚を得る瞬間が。という感じで【臨場感】に関しては難しいところもあって、今後何度かお伝えしていけたらなと思ってる。

「**意味わからん**」て不評だったらやめるwwそんな感じで、韓国に戻り、とりあえずは以前のレベルまで韓国語のカンを取り戻した。それで飛び級試験にのぞんだ。ぼくは、正直、実力は足りなかった。

だってね、4級修了の人と同じレベルであるかをチェックされるわけだからね。もちろん、そんなレベルには達してない。なんとか飛び級試験にはたどり着いたけど、内心、不安だらけだった。

試験は、ひとり10分程度の面接だった。いろいろ聞かれた。たとえば、「猫ってどんな動物ですか？描写してください」って質問が出た。きたーーー！全然わからん。「両腕に抱えられるぐらいの大きさで、全身が毛におおわれててニャアと鳴く動物です」

とかがきっと模範解答なんだろうね。でも当然そんなことは言えない。答えられな

かったら受からない。どうしよう。どうしよう。どうしよう。そしてぼくは、ある秘策を思いついた。

（つづく）ちょなぱだ

20

字幕ナシで映画！よりも、割り切りが大事

—— 約6分で読めます ——

こんにちは、ちょなぱだです。「私は英語ができない」って一文から始まる本があるんだ。その本、英語学習法の本なんだけど。その人は、元外交官で、大統領の通訳とかもこなした人で。

アメリカの大学院を２つ出てたりして。それでも、**「私は英語ができない」**なんだって。ぼくは**「そんなわけないだろう」**と思ったよね。でも、それって真実なんだなあということを知ったよ。

その人は、必要なことをこなす英語だけ学んだことで、早く目的を達成したんだよね。**つまりはビジネス分野に絞った**。たと

えば、映画を見るための、文学的な表現とかおしゃれな言い回しは学んでない。

だから、映画はわからない。大統領の通訳をこなしたレベルであっても、だよ。「**映画を字幕なしで見て・・・**」とかって、あこがれる人もいると思うんだけど。その人も、映画は日本語吹き替えで見るって書いてた。

そんなもんなんだよね。これが真実。あのね、けっこうな誤解があることの１つに「韓国語を勉強したら映画やドラマを字幕無しで見られるようになるんだろな」ってやつ。これがあるんだけども。

うーんとね。正直、ぼくもドラマは、全部は聞き取れない。**いいとこ８割。**でもね、通訳はできるよ。予習して行くから。映画祭の通訳したときは、映画業界の言葉が飛び交うことが予想されたから、映画業界のことについて勉強した。

映画業界のシステムとか、マーケティングとか配給とかあとは俳優さんの名前とか。その人が昔出演した映画も全部見たし。ほかの場所でのインタビューとかも全部集めて読んだ。

そういうふうに事前にガンガン調べる。だからなんとかこなせたという感じ。**つまりは、ドラマを、ぶっつけで全部聞き取れる人って、相当なレベルなんだよ、という話**。ドラマって、くせのあるしゃべり方したりするし、方言入ってきたりもするし、おじさんはボソボソしゃべるし、新しい造語が出てきたりもするし。

100%聞き取れるのは、少なくともぼく以上のレベル。ぼくは韓国語能力試験６級を取って韓国人と５年付きあって韓国企業で働いて、韓国語講師養成課程を修了して、通訳・翻訳とかもしてたレベル。

まぁたいしたことはない。ドラマを完璧に聞き取りたいならぼく以上のレベルは必要。**なので、がんばってね！**

> ・・・・・というのが
> 本題じゃなくてね。

逆なんだよ。そこを目指したら、もう絶望するしかないよ、ってゆう話なのね。途方もない時間がかかるよ、っていう話なの。ドラマもそうだし、バラエティも、ラジオも映画も演劇も、ミュージカルも、そのあたりは全部いっしょ。

100%全部聞き取れるのはまじでハイレベルな話。あらゆる背景知識も必要になるしね。「じゃあ、映画は見られないの？」「じゃあどうしたらいいの？」ってことなんだけど。

言葉を、全部聞き取れなくても、楽しめるよ。ってことなんだ。うんとね、昔、英

語の翻訳してる人と同意した話なんだけど。「10%わかればOKという割り切りが大事」ということなんだよね。

人の脳って優れてて、自動で、欠けてる部分をおぎなってくれるんだ。サッカー 日本 勝ちって見たら、**「あぁ、サッカーで日本が勝ったのか」**ってわかるじゃん。それとか、**「あいう お」**

「かきくけ 」って見ると、あいうえお、かきくけこって出てくるでしょ？これ、ゲシュタルト能力。勝手に、空いた穴を埋めて自分で意味有る形をつくるんだわね。これがすごい発達してるの。

脳のカロリー消費を抑えるため。危険が迫る前に、中途半端な情報でも危機を察知して逃げられるため。情報が100%なくても、判断して行動できるように。なんだわ。だから、10%聞き取れればOKと割り切る。

あとは、背景知識で補う。分野を絞って何度も見てるうちにその分野の単語がわかってくる。そしたらその10%が20%になり、30%になっていく。だからぼくは、ドラマで勉強するなら設定が毎回一緒のシットコムがいいよって言ってるんだね。

毎回新しい設定からだと、大変でしょうがないから。背景知識がそのたびに必要になるから。このね、**「映画を字幕無しで」**というあこがれには、かなりの誤解があることを認識しておいたらいいんじゃないかな？

100%の理解は、相当に難しい。だから、完ぺきは目指さない。それより、10%でも聞き取れたらあとは背景知識で補っていく。聞き取れない部分があっても、**「そんなもんなんだ」**と思っておく。

そういう感じなんだと気楽に構えておくほうが、楽しく続けられるんじゃないかな

と思うよ。あまりに「私はいつまでたっても映画が全然わかんない」って嘆くと、つらいから。

　じゃあそんな感じ！■追記ありがたいことに質問をいただいたりするんだけど。Twitterとかアメブロを見てくれてる方なら知ってると思うけど。ぼく、質問、受け付けてないんだ。

　ある事情によって。なので、個別の回答はせず、全体のメルマガで、それに関連した内容を書くかも、みたいな感じにさせてもらってます。ごめんね。ご理解ありがとうございます。

　ってか昔ね、返信したら、すごい怒られたことがあって。「そんな言葉が欲しかったんじゃないのに！」「私、傷ついたんですけど！！！！」とかって。話を聞いて共感してほしかった的な。

ぼくそういうの、苦手で(>_<)そういうの得意だったら長年コミュ障やってなくて。。。なので、かなりお互い理解して、前提とか目的とかを確認しておかないと、なかなか思ったこと言えないんだよね。

顔を合わせたことのない人どうしの難しいところ。それぞれ、韓国語に対する優先順位とか本気度とか使える時間とかお金とかも違うしね。どこに地雷が埋まってるかもメールじゃ判断できなかったり。

それでも、メッセージはうれしいしすごく参考になります。ありがとうございます。かなりレアだと思うけど、でもたまたまタイミングが合ったら返信したりしてます。完全にクジ引きですねｗｗそんな感じで。

こんな最後の最後まで読んでくれてありがとうございます＾＾ちょなぱだ

21

短期集中で踊り場までかけあがるべし

—— 約6分で読めます ——

こんにちは、ちょなぱだです。半年ぶりぐらいにジムに入会しましたよね。うんとこしょどっこいしょって運動するとこね。**筋トレとか。**で入ってみるとやっぱりめっちゃいい。

人って運動せなあかんのよね。活動するスイッチになるというか。人の体の仕組みについて考えるときはさ、原始時代を思い出したらいいと思ってるんだけど。あれ？覚えてない？

一緒にマンモス追ったじゃん。的なイメージね。でそんときには、栄養が足りないから基本はぐうたらするやん？体力温存

やわ。そんなときに、運動するってったら、何のとき？

　狩りのときだよね。獲物を狙いにいくとき。そんときにはぼーっとしてなんかいられない。自分の持てる力をここぞとばかりに発揮せなあかんよね。だから、めっちゃホルモン出るやん。

　自分を覚醒させるわけ。それが、現代ではどうなるか？勉強が、仕事が、はかどるようになるってわけやんか。運動をするとね。スイッチが入るわけ。だからめっちゃいい。気分もすっきりする。

　自信もつく。特に、男性はゼッタイにジム入ったほうがいい。女性もそうなんだけど、男性は特に筋トレしたほうがいい。テストステロン値が高まるから。男性ホルモンが、男性のやる気や活力におよぼす影響は異常。

麻薬レベルに効くから。原始時代とかには、男性ホルモンを高めすぎると危なかった。ケンカっぽやくなるからね。命の危険があった。でも今の時代は関係ない。道端で出会って殴り合いのケンカなんてほぼない。

ぼくが通ってた大阪の中学校ぐらいでしかないww中学のときくっそ治安悪かったwwで、運動すればまあいいんだけど、習慣って続かないじゃん。だから仕組み化。ジムに入っちゃうっていう。

できればパーソナルトレーナーをつける。それか、ライングループで**「ジム部」**をつくる。**「今日ジム行ったで」**って報告。ほかのメンバーは「えらい！」って送る。以上。ちなみにぼくは一人でやる。

ぼくはジムは一人で行きたいタイプ。一人で行くけど、ベジータとイ・ミンジョンの力は借りる。自分がドラゴンボールって

漫画のベジータってキャラになったつもりで修行する。

あるいは、世界一美しいイ・ミンジョンに見られて品定めされてると妄想して規定の回数あげられるまでさぼらないようにする。まぁやり方はどうでもいい。ぼくが何を言いたいのかと言うと「期間を決めてプロジェクトを遂行しな」

ってこと。**「短期集中でやれ」**ってことね。ぼく、今回、ジムは２週間プロジェクトって決めてる。この２週間は**「ジム第一」**で生活する。生活の優先順位の１番をジムにする。

でね、その勢いでやったら成果が出ないわけないんだわ。**「１年間」**とかだったらゼッタイ頑張れない。でも、**「２週間」**だから頑張れる。そゆふうに、短期間って決めて、１つに徹底して取り組む。

エネルギーをすべて投入する。そういう勢いでやるといいよ。それで1つ、**「踊り場」**まで達する。階段ずっと上がるのはつらい。だから、とりあえず、休憩できる**「踊り場」**まで一気にたどり着く。

踊り場まで行っちゃえばある程度、その水準を維持できる。階段の途中で休んじゃうとまだまだ先は長くて途中で休む場もなくてそれでずるずるいっちゃうんだよ。経験あるでしょう？

ぼくはめっちゃあるよ。だからね、短期集中なんだ。期間を決めて、時間とエネルギーをそれにささげる。**「でも忙しいし」**って思うやん？いいよ。そりゃあ忙しいもの。じゃあさ、なんで忙しいか書き出してみない？

一日を、何に時間使ってるか。テレビ1時間。ふむふむ。Twitter2時間。ほうほう。まとめサイト1時間。なるほど。飲み

会１時間。そうね。あれ？それって全部必要？

いや、「必要だもん！」って言うよね。じゃあ、こう聞こう。「それやらないとしぬの？」「それなくなったらしぬ？」っていう。たしかに、あるじゃん。必須事項。風呂入るとか。

飯食うとか。仕事するとか。まぁそういうのはやろう。で、それ以外のこと。それ以外のことをすべて**「１つのテーマ」**にささげたらどうかな？ってハナシをしてるんだ。短期なんだよ。

一生じゃないんだ。限られた期間だけ。その期間だけやるとすごい成果が出る。たとえば、参考書薄いやつ１冊を徹底的にやりこむ。何度も何度も読み返して何度も何度も**「想起」**して徹底マスターする。

めっちゃ自信つくよ。ぼく高校の時さ世界史、苦手だったじゃん。ってか嫌いだっ

た。いっつも赤点。追試。授業中は寝る。でもね、フランス革命のときだ。そんときだけ、おべんきょしたのよ。

　おべんきょっつってもね世界史なんて、何回も教科書読むだけ。寝ても覚めても世界史やった。なぜなら、高得点取らないと単位もらえなかったからwwで、普段は40点を上回ったことなかったんだけど、フランス革命のときだけ89点とった。

　奇跡？きせきじゃないよ。運命だよ。じゃなくて、できるんだよ。だって世界史にささげたんだもの。ちなみにぼくのささげ具合がよくわかるエピソードを言うと、Youtube。

　ぼくYoutubeいっしょけんめいあげてたじゃん。特に初期は。あんとき、どれぐらいささげてたかっていうと。1日21時間を動画制作にあててた。めしもろくに食わなかった。

寝なかったよね。基本。でもずっとじゃないからね。その勢いでやったのははじめの３日ぐらい。そっから１ヶ月は、まぁ、1日8時間ぐらいに落とした。そういうノリでやってた。

そりゃあ、動画の数もたまるわ。自信もつくわ。っていうね。ただしぼくは、過集中のきらいがあるので真似しろとは言わない。でもね、何か、人生において本当に達成したいことがあるなら、それぐらいやったっていいじゃん。

一時期なんだから。ましてや、やりたいことなんだから。というわけで今は２週間という短期集中で筋トレにハマってる。
くっそ楽しい。ジム行くのめんどうだなーって思うこともあるけど、そういうときは惰性（だせい）で行く。

頭でいやなこと考えるほどどんどんいやになっていくからね。考えず、自動的に準

備して自動的に家を出てジムに向かう。**これ実は、いやなことをこなすけっこうな秘訣**。そういうわけで今は毎日が筋肉痛。

　ジムの風呂めちゃ気持ちいい。雨の日も、行くさ。なぜなら優先順位１番だから。一生やるわけじゃないから。短期集中だから。もし、何か**「本当に」**やりたくて、**「本当に」**達成したいことあったらぜひやってみてね。

　もちろん楽しくやるのがポイント。LINEグループつくったりして活動報告したりね。カレンダーにスタンプ貼ったり。そういう工夫もぬかりなく。あるとき、本気出して１ヶ月間とかやってみたら人生変わるんだってはあちゅうさんも言ってたよ。

　それではまたね。ちょなぱだ

22

自分に合った勉強法をやればいいですよ

—— 約5分で読めます ——

こんにちは、ちょなぱだです。気軽に書いてみるテスト。いや、いつも気軽なんだけど。最近、何してますか？あれこれ新しい動きがあったり環境が変わるタイミングだったりいろいろと思うところもきっとあることでしょう。

ぼくもご多分にもれずあれやこれやしたりなんにもしなかったりと気ままに過ごしています。そんでなんだけど、やっぱり人ってなかなか変われないよねと思ったんだよね。うんと、最近、毎朝６時半とかに起きてるの。

朝が苦手だったのにやればできるじゃーんって一瞬思ったんだけど、違った。６時

半に起きて、朝ごはんなぞ食べて、そっから朝から活動するか？と思いきや、その後、ふたたび寝るだけなんだ。

そんで結局お昼ぐらいに起きるという。やっぱり夜８時ぐらいからだんだん調子が出てくるという。やっぱり、環境の変化とかあっても変わるのって難しい。**起きる「理由」がないのだもの。**

ということを考えると、**「自分以外の何者かになろうとしない」**ことって、自然体で生きる上でけっこうダイジなのかなあって思ったりするんだ。**いや、人になんか言われると。**

ついつい張り切っちゃったりするんだけど。でも、それっていつまでも続かないしなんだか苦しいしっていうんで。この話がどう韓国語学習につながっていくか？と不安になってきたかもしれんけど。

イイタイコトは「自分を知ってみたらおベンキョもはかどるかもね」ってことなんだよね。たとえばね、学習スタイルについて。ぼくが目の敵にしている**「コツコツ」**とかも、単にぼくがそれに合わないだけ。

コツコツやるのがいいって人もたくさんいるわけ。なのに、そんな人がぼくみたいに**「気分が乗ったときに一気にやれ」**と言われても、そんなのできないって思うかもしれない。

逆にぼくが**「勉強はコツコツ努力しなさい」**と言われたら、一気に能力を発揮できなくなる。これって、どちらが優れてるとかじゃなくて、スタイルの違いに過ぎないんだ。山に登るときに、急でもいいから最短距離を行くか時間がかかるのを承知でなだらかな回り道をしていくかとかの選択の違いに過ぎない。

（まぁぼくは語学に関しては短期決戦がベストだと信じてるけど）でね、このスタイルの違いって人の性格によるんだわ。性格とか、生まれつきの形質とかあとは身体的特徴とかね。

「こういうホルモンが働きやすいタイプの人」とか。**人によって違うんだわ**。だってね、赤ちゃんだって生まれたときからものすごく性格違うでしょう？やっぱりあきらかに人の違いってあるんだよね。

ただ、その違いに自分では気づきにくい。自分ってどういう人間？っていうのをわかっている人って少ない。**とても少ない**。あのね、ぼくってさ「誰でもあなたの思ってる以上の価値がある」って言うじゃん。

これ、本気で思ってるんだけど。でもね、どっかの調査で「日本人の４割が、自分に何の取り柄もないと思ってる」って出

てたわ。**おいおいおい**。そんなわけねーじゃん。あんたらどんだけ自分のことわかってないんだってぼくは思うんだ。

　そんぐらい人って、自分のことをわかってないわけ。そして自分の能力や価値を過小評価してしまうわけ。そんなに自分のことわかってないで勉強方法も自分に合うのわからないよね？

　どうやったら自分が一番本気になれて力を発揮できるのかわかってないでしょう？そのへんをね、やるのっていいんじゃないかと思ったり。ぼくも、あれやこれやの分析手法を使って、だいぶ自分のことをわかってるつもりでいた。

　でも、ここ２年ぐらいで自分に対する理解が格段に進んだ。今の自分を形成している核になるようなことに気づいていなかった。そういうことってあるんだ。そしてこれは、人に指摘されて気づいた。

これに気づいてから、ぼくはそれまでのいろいろなことへの理解が急速に進んだ。そしてだいぶ生きやすくなった。学習スタイルにも納得がいった。というわけで**「自分を知る」**

ってのをね、けっこうつきつめてやるのって学習にも役立つんだよと思うんだ。「どうやってやるの？」って思うかもしんないけど、それっていろんな手法がある。やりやすいのはタイプ分析。

人を３つに分けるやつとか４つに分けるやつとか６つに分けるのとか８つに分けるのとか９つに分けるのとか12に分けるやつとか16に分けるのとか。まぁいろいろあるじゃん。

とりあえずそういうので自分がしっくり来るのをやったらいいんだよね。たぶん**「性格診断」**とか**「タイプ分類」**とかなんかそのへんで検索していろいろ試してみた

らいい。みんなでそれをやってみてあれやこれや話し合うとかって会をやるのもいいと思うよ。

まぁそんな感じで

> ・勉強スタイルは人によって違う
> ・自分を知れば勉強ははかどる
> ・性格診断とかやってみれば？

っていうような話でした。最近さ、またやたらと勉強法の本を読んだりしてます。２、３のジャンルで新しい勉強を始めたりもしてます。ぼくが勉強するときって知識欲もあるんだけど、「これをみんなにシェアしたらきっといいだろうな」

と思いながらやることが多々あるんだよね。やっぱりぼくは人を巻き込んで一緒にやるのが好きなタイプっていう。ただ、そういうのを求めてない人も多数だから本当に求めてる人だけを集めたメルマガでもや

るかなというのを言ってるけど１人の方だけが**「ぜひやれ」**って反応くださったけどとりあえずまたてきとーにしてみます。

　たぶんまた保留になる感じで。あ、てっとり早く韓国語を話せるようになりたければフレーズ集を買って全部覚えるのが近道だよ。じゃーね。ちょなぱだ

23

会話試験を切り抜けたずるいテクニック

── 約8分で読めます ──

こんにちは、ちょなぱだです。※このメールが２回届いてたらごめんなさい。友だちに熱烈すすめられて韓国ドラマ**「ミセン」**を見始めています。**これ、いいですね**。めっちゃ下調べしてある。

韓国の商社の話なんだけど、まさにこんな感じ。ぼく、韓国系の商社につとめてたんだな、これが。だから韓国の大企業で働きたい人とかは、見といて損はないかもね。**ふいんきをつかめると思うよ**。

韓国語は、貿易の専門用語がバンバン出てきてちょっと難しいけど、貿易実務検定C級を持ってるはずのぼくもよくわからんくらいだからまぁいいや。というわけで、

もはや誰が興味を持ってるかわからない留学記12回目。

3級から5級への飛び級テストで面接を受けてたぼく。独学で4級のテキストまで進めてたとは言え、やっぱり4級修了レベルにはほど遠いと感じていました。案の定、面接の質問の答えに窮する。

「猫は、どんな動物ですか？描写して私に教えてください」という質問が来ても、やばいやばいやばいしか頭のなかに浮かびません。でも、ここでシドロモドロになっちゃったら、受からない。

せっかく試験までこぎつけたのに飛び級できなくては元も子もない。どうしたものか・・・と考えたあげく、ぼくはこう答えました。「外へ行ってご自身でご覧になってきたらどうですか？」

猫の姿がわからないなら、外へ行けば見られるから、直接見て確かめてくるのが早

いんじゃないかという旨の返答でした。試験管の先生は、憎たらしい、という表情で押し黙りましたが、そのまま次の質問へ移ってくれました。

　この対応は、どうだったでしょうか？明らかに、ぼくの勝ち、ではないですよね。**きちんと答えられてないので。でも、完全に負けてはない**。少なくとも通常のコミュニケーションとしては成り立っているのですから。

　０点は、つけられないはずなのです。**嫌われるかもしれないけどwwでもね、これも実は、「戦略的回避」といって、立派な会話のテクニックなんですよね**。普通に、日本語教師養成講座に通ったときにも、出てきた。

　だってね、言語って、１つの側面として、コミュニケーションのためにあるものでしょう？そう考えたときに、質問の意味

とか、単語とかわからなくて押し黙ってしまうよりも、**「わかりません」**でもなんでも言って、会話を流したほうがいい。

　キャッチボールを続けるほうがそこでの目的にはそぐうわけ。それに、何か答えにくい質問をされたとき、たとえば、体重とか、彼氏の有無とか、直接答えたくないことを聞かれたとき、正面切って答えなくてもいい。

　やんわり話をそらす、とか、皮肉で返す、とか、そういうのも立派なコミュニケーション戦術の１つでしょう？「体重は何キロになったの？」って失礼な質問をされたときに、「そんなこと聞くなんて最低ですね！」って返すのも１つの手だけど、そうできない場合。

　関係を壊したくない場合。「おばあちゃんの遺言で、体重だけは人に言ってはいけないと言われてるんです」って答えるの

も、全然アリじゃん。**こういうの、「戦略的回避」**。ぼくは別にその言葉は当時知らなくて、単なる苦肉の策でしかなかったけど、でもそういうのも、立派な戦略の１つなんだよね。

たぶん、日本の学校教育だとそういう答えをしたら叩かれてたかもしれない。**ふざけるな！**まじめにやれ！ってね。でも、何度も言ってきてるように学校教育は単なる洗脳だから。

古い価値観を押し付けて従順な工場労働者・企業戦士を生み出す場に過ぎないから。大人になったら、自由な発想をしたらいい。という感じで、戦略的回避も混ぜつつぼくは面接をなんとかこなした。

終わった瞬間、**「なんとかいけそうだな」**という手応えもあった。決して高得点ではないと思う。でもそれで全然いい。合

格しさえすればいい。満点なんか必要ない。合格点を１点でも超えればいい。

試験は所詮、試験なんだから。ちなみに、３級から５級への飛び級試験を受ける人はぼくだけだった。ほかに、４級から６級への試験を受ける人がいた。試験を待ってる間、彼はぼくに近づき、話しかけてきた。

「チョングオレン？」中国語で、「お前は中国人か？」と聞いてきたんですね。ぼくは、「あにょ。いるぼんさらみえよ」と答えた。彼は不思議そうな顔をした。だって中国語で聞いたはずで、中国人じゃないなら中国語は理解できないはず。

なのに返ってきた内容は、きちんと質問に対する回答になってる。というように、複数の言語を勉強してるといろいろ面白いことが起こる。韓国語をやりながらほかの言語に手を出すのもオススメ。

韓国語がいかに簡単かわかるから。そうしてぼくは、晴れて５級に進めることになった。５級は・・・予想はしてたけど、みんなおそろしくレベルが高かった。３級は、なんだかんだいって、みんな下手くそだったのよ。

韓国語をしゃべる前に、頭のなかで言葉を組み立ててる感覚があった。でも、５級クラスのみんなは、もう１年も韓国にいるわけ。だから韓国語がそのままスラスラスラスラ出てくる。

語彙も高度。ペースも早い。やべえ。３級のときに参加した４級クラスの飲み会で出会った中国人の女性も同じクラスにいた。そうだな、この人の名前をメイリン（仮名）にしよう。

メイリンは、上海出身で、ものっっそい韓国語がうまい。ちなみにけっこうな美人。４級で会ったときは、この人韓国語う

まいなああああああさすが中国人だなあああと思ってた。

発音もほぼ完ぺき。中国人は、助詞とかが苦手な人も多かったんだけど、メイリンはそのあたりも完ぺき。３級のときに見たメイリンは、もうすごいうまくて遠い存在、という感じだった。

でも、その人が同じクラスにいるぐらい。とんでもないレベルのクラスに入ってしまったわけ。やばい、これは気合を入れて勉強しなければ。また３級に入った当初と同じように鬼のような落ちこぼれ生活が始まった。

クラスメートの言ってること、わからん。ぼくの実力、足りない。４級の内容、抜け落ちてる。**予習をしなければ絶対についていけないと直感した**。予習をした。次の日、授業にのぞんだ。

なんと予習したのと違う箇所が始まった。まじか。授業時間中に必死に単語とか調べてたら、となりの席のメイリンに怒られた。**「予習してこなあかんやろ」**ときれいな韓国語で言われた。

上海は大阪のイメージだから大阪弁で訳してみることにする。ぼくは言い訳をした。**「予習してくる個所を間違ったんだ」**ただでさえ落ちこぼれなのに努力もしないところを見せたくはなかった。

メイリンは「そうか？ほな、しゃあないな。明日から間違わずやってきいや」と、案外やさしかった。メイリンはオトコギがあるというか、下手っぴなぼくをよく気にかけていろいろとアドバイスをしてくれた。

なにしろ中国人は、なまっちょろい日本人と違って本気の人が多いから、刺激を受けるところが多かった。彼女が中国人であ

るにもかかわらず日本人よりも韓国語が上手なのは、努力の成果に違いなかった。

　授業ではちょくちょく課題が出た。作文を書くことになった。先生が添削して返してくれることになった。ところがぼくの分だけ、なかなか返ってこない。どうしたのかなあと思ってたら、先生に呼び出された。

　あまりに修正箇所が多くて、とても手が回らなかったようだ。その場でぼくの書いた作文に赤を入れながら、先生はタメ息をついた。「ちょなぱださんは、飛び級してきたでしょ」

　「だから、いーっぱい、勉強しなきゃいけません」そのとおりだと思った。ぼくの実力が足りないのは明らかだった。まわりの人は、もう完ぺきなんじゃないかと思うぐらい上手だった。

ぼくはまた劣等生だった。３級のときは、飛び級のために**「クラスで１番たくさん勉強する」**という目標を立てた。５級から飛び級することはないので、少し手をゆるめられるかな、と思っていた。

でも、当然そんなことはなかった。むしろ、難易度が上がった分、一生懸命勉強しなければ追いつくことさえ難しかった。だからぼくは相変わらず、学校が終わった後は図書館に行って予習復習をし、また夜は24時間の図書館に行って、４級、５級の教科書を進めるという生活をしていた。

３級のときのクラスメートは、みんななかよく４級に進んでた。いや、バングラデシュ人の彼は再び３級を履修していた。最初はものすごくうまく見えたのに実力は伸びていなかった。

彼は**「バングラデシュ語の辞書がないんだ」**と嘆いていた。漢字語もわからなく

て、きっとぼくたちの思っているより韓国語がずっと難しいんだと思う。ぼくたち日本語ができる人は、ものすごく有利な状況に置かれてることを改めて実感した。

５級の中間テストは、やっと みんなに追いつけたかなぐらいだったけど、だんだん、手応えが出てきた。韓国語が、わかるようになってきた。わかるようになってきたからこそ、ぼくは、あることに悩み始めていた。

（つづく）ちょなぱだ

韓国語と、ぼくの話。

第三巻　自分のやり方を見つける

全七巻

著　ちょなぱだ

かつて配信していたメールマガジンより

「わたしを語る韓国語」プロジェクト